

◆2018年2月13日より受託検査を開始いたしました。◆

猫ワクチンセット検査

大阪ラボ

■ Vセット

●ワクチン効果の判定のためのセット検査です。

●これまで実施させていただいておりました「V-F9セット」と「V-255セット」を終了し、
両セットを合わせたセット検査として「Vセット」を新たに開始いたしました。
⇒接種したワクチンの違いでセット検査項目の選択が不要になりました。
(F9株と255株以外のFCVワクチンの効果判定も可能となります。)

●FCV抗体とFHV-1抗体の検査方法を中和試験からIP法に変更しました。

⇒へパリン血漿でも検査可能になりました。

⇒少量の血清(血漿)で検査可能になりました(0.3mL → 0.1mL)。

⇒報告日数が短くなりました(7日以内 → 5日以内※)。

※弊社受付日を0日とした営業日換算値となっております(土、日、祝日、弊社指定休日を除く)。

▲従来ご利用いただきました「V-F9セット」と「V-255セット」は2018年2月9日受付をもって終了させていただきました。

セット名	項目	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
猫ワクチン セット Vセット	FCV抗体 FHV-1抗体 FPV抗体	血清(血漿) 0.1mL	常温 冷蔵	5日 以内	FCV:IP FHV-1:IP FPV:HI	1.感染診断に利用できません。 2.FCVとFHV-1 ワクチンは基本的に発症を軽減するもので(相対的防御)、十分なワクチン効果を得られていても感染により症状を呈する場合があります。 3.裏面の【結果の解釈】は一般的なものです。特にFCV、FHV-1、FPVでワクチン接種が必要と考えられる場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。

◆2018年2月13日より受託検査を開始いたしました。◆

猫ワクチンセット検査

大阪ラボ

Vセット

【結果の解釈】

4ヶ月齢(16週齢)以上			
FCV	FHV-1	FPV	コメント
～400	～200	10未満	ワクチン効果が不十分です。
800～1600	400～800	10～20	現時点でワクチン効果が期待できる抗体価ですが、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が必要です。1年以内にワクチンを追加接種するか、抗体の再検査を実施されることをお勧めいたします。
3200～	1600～	40～	長期間の持続が期待できる十分なワクチン効果が得られています。

3ヶ月齢(12週齢)			
FCV	FHV-1	FPV	コメント
～400	～200	10未満	ワクチン効果が不十分です。
800～1600	400～800	10～20	移行抗体の可能性がります。可能な例についてはワクチンの再接種をお勧めします。
3200～6400	1600	40	ワクチン効果十分と判定できる抗体価ですが、移行抗体の可能性もあるので1ヶ月後の再検査が必要です(移行抗体は1/4～1/16に低下します)。
12800～	3200～	80～	十分なワクチン効果が得られています。

2ヶ月齢(8週齢)			
FCV	FHV-1	FPV	コメント
～400	～200	10未満	ワクチン効果が不十分です。
800～1600	400～800	10～20	移行抗体の可能性がります。可能な例についてはワクチンの再接種をお勧めします。
3200～25600	1600～6400	40～160	ワクチン効果十分と判定できる抗体価ですが、移行抗体の可能性もあるので1ヶ月後の再検査が必要です(移行抗体は1/4～1/16に低下します)。
51200～	12800～	320～	十分なワクチン効果が得られています。

FCV、FHV-1、FPVの各月齢における移行抗体との区別にはワクチン接種済みの健康猫100頭の抗体価を測定し、そこで得られた最高の値をもとに移行抗体の半減期から算出したデータを利用しています。

- ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。
- 弊社がご提供している基準値は、過去に研究者たちが提唱した値を参考にして最も妥当と考えられる値に設定されています。また、本基準値は弊社の検査系に対するものであり、他社の検査結果には適用することができませんのでご注意ください。